



希望の未来へ！あなたと市政のかけ橋に すずらんジャーナル

船橋市議会議員

はしもと 和子

2025年 第77号

市民相談はお気軽に

090-5574-9079

発行 橋本 和子

都市計画道路3・4・27号線橋りょう上部工事請負契約

前原駅と飯山満駅を結ぶ道路で、市道00-136号線の上を通過する橋りょう工事です。



【市の説明資料(イメージ図)より】

飯山満駅周辺で土地区画整理事業が進められていますが、前原駅方面と連絡する幹線道路が整備されていない為、前原駅と飯山満駅間を往来する車両が比較的幅員が狭い生活道路を通過している状況の中、この橋りょうが完成し都市計画道路が開通することで、生活道路の安全性の向上が期待されます。

(令和8年10月竣工予定)



自転車走行環境を整備するのか？
歩道の幅員は？

整備する予定
幅員は3.5m

橋りょうを通行する
歩行者の転落防止等
の安全対策は？

高さ1.1mの壁高欄
の上に高さ0.9mの
メッシュフェンスを設置



介護事業者向けカスタマーハラスメントの無料法律相談窓口の開設

千葉県では、介護人材を安定的に確保し、介護職員が安心して働き続けられる環境を整備するため、県内の介護事業所・介護施設をマネジメントする立場にある方を対象として、介護サービスの利用者やその家族等からのカスタマーハラスメントへの対応に関する法律相談の窓口を設置。

【詳しくは、千葉県のHP又は高齢者福祉課へお問い合わせください。】



訪問介護事業所の方から相談を受け、令和6年第2回定例会で取り上げさらに県議会において、9月の公明党代表質問で、仲村ひであき県議にとりあげてもらい、実現しました。

新商工業戦略プラン

現行の船橋市商工業戦略プランが令和7年度で計画期間が終了することから、令和8年度に次期計画を策定するために新商工業戦略プラン策定委員会が開催され、傍聴しました。



委員の方から「計画を立てても、誰が実際におこなうのか？ 少子高齢化の中、人材確保、特に若者の人材確保は？ 観光としては、アンデルセン公園・三番瀬海浜公園があるが、観光地にはなっていない、観光地にするには、行って見て、遊んで、泊まれる所が必要。エリア別に個性を出す方が良いのでは、特に、船橋のイメージは、南部や西部地域に偏りがちで、飲食や大型店舗などが集中している」



県道夏見小室線を思い浮かべてください。船取線と交差する金杉十字路から北部の事を考えたとき、アンデルセン公園を中心にどうしたら発展するのか考える必要があります。

観光ポストとしては、アンデルセン公園があり、帰りの車を見みると国道16号線の方に向かう車より、三咲駅方面に向かう車、市外のナンバーも多いと感じます。渋滞問題は、今後の課題として、今回は、これだけの車利用者がいるわけですから、途中に、地場産の野菜やくだもの、特に梨や近年ではイチゴシャインマスカットなどが作られていますので、これらの販売はもちろんですが、地場産の物を使ったお料理も提供するなど、観光の観点からもまちづくりを考えるべきと思います。

市内外からアンデルセン公園に来園する方が、買い物や飲食のため、帰り道に近くの店舗に立ち寄ることは、北部地域内での回遊性向上、賑わい創出につながるものと考えている。新商工業戦略プランの策定においては、北部地域の特色をいかし、地域の魅力を発信し、観光振興を推進するために、様々な観点から検討を進める。

船橋の魅力的な産品を集めた、カタログギフト「まいふれのご当地ギフト」に掲載されている商品などの販売も面白いのではないのでしょうか。また、地域の活性化のためには、イベントを実施することも有効だと思います。

拠点となる施設ができれば、そこを会場に、例えば、北部方面での朝市はもちろんですが、マルシェも可能なのではないのでしょうか。人が集まり、地域が活性化する、販売を手伝う人、親子連れで訪れる人、一人暮らしの高齢者の方、一人で無理な方は、ヘルパーさんと訪れるなど、地域が元気になること間違いありません。

地域を元気にしたいと考えている若者もいます。新商工業戦略プランに、北部地域の活性化のため、施設整備だけではなく、集客イベントの実施といった視点も取り入れるべきと考えます。

イベント実施により集客を図ることは、賑わい創出による地域活性化に寄与するものと考えます。



子育て世帯訪問支援事業

虐待を受けている子どもや保護者には、特徴的サインが出されています。例えば、子どもの場合、不自然なあざや火傷の痕や洋服が汚れたまま、何日も同じ洋服を着ている、表情が乏しいことなどが挙げられます。保護者は家の中や外が散らかっている、隣近所との交流がないなど、孤立しています。虐待かな？と思ったら、迷わず、「189」に電話をしましょう。

子どもはもちろんですが、親のケアも必要です。虐待を起こさせないためには、特にママのケアが重要です。

子育て世帯訪問支援事業のガイドラインによると、単なる家事・育児の手伝いによる一時的な負担解消だけではなく、家事・子育て支援を通して、支援対象の家庭が自立して生活できるように支援対象者の環境を整えていくことが最終的な目標像である。

訪問支援を実施する上で、家事・子育て等に対して不安や悩みを抱えた家庭が信頼して相談・支援を依頼できるために、訪問支援員は家庭が抱える不安や悩みを傾聴できる必要がある。家事・子育ての一方的な指導や、訪問支援員自身の価値観のおしつけ、児童や保護者又は妊婦の価値観の否定をするのではなく、保護者等の立場に寄り添い、保護者等の状況や心情を理解し、支援を行うよう努めること。とあり、ただ単なるホームヘルパーではなく寄り添い・傾聴・共感・受容のスキルが求められています。

支援対象となるのは家庭児童相談室が支援を行っている家庭の他乳児家庭全戸訪問事業の実施結果などにより家事支援等を行うことで、生活ストレスの解消等に有効である場合訪問支援を実施している。



虐待防止の第一歩として出産後の支援が必要です。

産後ケア事業では賄いきれない部分に対し、産後の育児・家庭支援が必要です。ママ達が求めている家庭支援を行い、耳を傾け、同苦し支援することで、虐待予防につながると考えます。産後の家事・育児支援について今後どうするのか伺います。



本市の産後ケア事業は、産婦に対して休養の機会を提供するとともに、助産師等による専門職による心身のケアを実施すること、母子とその家族が健やかに生活できるように支援している。しかしながら、産後ケア事業では担うことができない家事や育児の負担もあることは認識している。

家事・育児支援サービスを利用することで、その負担軽減や、ちょっとした悩みや不安の相談ができることで、安心して子育てができ、虐待の未然防止につながると考えられることから、導入について検討する。



東部公民館等複合施設の大規模改修

(令和7年4月1日開館予定)

宿泊可能な避難場所になっています。

台風時等において宿泊可能避難所として開設された時は、和室に誘導するが、今回の改修で、和室からじゅうたん敷の集会室に変更した2室も、靴を脱いで利用する部屋であることから、誘導する。



音楽室が設置されます。

窓は、防音性能を有する二重サッシを採用。
天井・床・壁面・扉も防音性能の高い材料を使用。



防音対策がなされた音楽室が設置されたことにより、特に若者などから、バンドの練習をしたい、ダンスの練習を思いっきりしたいなどの声が届いていますので、新たに利用者層が開拓されるのではないかと思います。津田沼駅近くという事で、若者の利用者が増える事を期待しています。



住民税非課税世帯等価格高騰支援給付金が支給されます。

(令和6年12月13日時点で、船橋市に住民登録がある世帯)
令和6年度の住民税が非課税世帯に対し、1世帯3万円支給。
(こども加算として、18歳以下の児童1人当たり2万円)
詳しくは、市のHP・広報ふなばし(1月15日号)をご覧ください。



はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ hashimoto-kazuko.jp

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司

